

都市的集落の形成

- ・契機 ... 交易、支配・防御の拠点
- ・沿岸航路 ... 日本海がメインルート
- ・その終点で、北方交易の拠点となったのが**十三湊**
- ・北条氏が居館を築いて権益独占。
- ・その権益を現地で差配したのが**安藤(東)氏**。
- ・三陸沿岸にも進出して東北最大の海洋武士団に。

中世までの史料にみえる**陸上交易路**は、胆沢以北は僅少。

- ・北方ルートは、多賀城付近から**最上、庄内、秋田、津軽**に至るコースがメイン。

★本格整備は世情安定する**近世**

主要河川 ... 北上, 阿武隈, 最上, 雄物, 米代etc.

街道 ... 奥大道, 浜街道, 羽州街道

防御集落の立地

- ・不安定な世情は、環濠・土塁のほか、**険阻な地形**を利用した**防御機能**を備えた集落を各地に生み出した。
- ・これらの集落では、平時は**麓に居宅と家臣団**を配し、山上に**有事に備えた防御施設**を築くのが一般的。

中世の山城 **向羽黒山城** (会津本郷)

※北東端の斜面に登り窯を築いて窯元が集まり、「瀬戸町」と呼ばれるように。

- ・こうした集落は、**防御拠点**を示す「要害」、「寄居」、「館」などの地名で呼称される。
- ・平時の集落のほうは、城館の「下」にあることを意味する呼称(根小屋, 山下, 麓etc.)が用いられる。

・今日の**地方町**や**小都市**の中心集落には、中世の防衛集落に起源するものが多い。

交易都市十三湊

http://suido-ishizue.jp/nhon/09/02_2.html

- ・文書史料が少なく、実態は不明。
- ・その富は、**北条氏**専制政治の**経済基盤**に。
- ・近世以降、砂で埋まって衰微し、寒村に。

・1991~93年, 国立歴史民俗博物館が本格的な発掘調査を行い、**安藤(東)氏の環濠屋敷**を中心とした繁栄を物語る遺構が次々発見。右のような**市街地**が明らかに。

※名産の**シジミ汁**, **シジミラーメン**がおすすめ。

地形図(2010版)

松森城
国分氏の居城

岩切城
奥州留守職・伊沢氏(後に留守氏)の居城

鶴ヶ谷(笹森)城

・平時は**農業集落**。いずれも**戦国末に伊達氏の配下**に。